

水質汚染拡散防止の技能向上のため 「水質事故対応講習会」を開催します

暖房用として灯油等を扱う機会が多くなるこれからの時期に、油流出に伴う水質事故が多く発生しております。

そこで本格的な冬を前に本協議会では、北上川（宮城県内）、鳴瀬川、江合川沿川市町村等の担当職員が、河川等への油等流出・拡散防止方法を習得し、事故時の円滑な対応を図るため、水質事故対応講習会を開催しますのでお知らせします。

【水質事故対応講習会】

- ◆日 時 : 平成30年9月28日(金) 13時30分～15時30分(※小雨決行)
※悪天候や突発的な災害によって中止する場合があります。
- ◆場 所 : 江合川 新涌谷大橋左岸上流 涌谷地区河川防災ステーション
(住所) 宮城県遠田郡涌谷町字千間江(わくやちょうあざせんげんえ) 地先
- ◆訓練内容 : ① 下流管内の水質事故事例に基づいた水質調査
② 油を効率良く回収する方法
③ 万国旗型オイルフェンスの作り方
④ 吸着型オイルフェンスの設置
⑤ 中和剤使用の弊害について
- ◆参加者数 : 各水質汚濁対策連絡協議会の構成機関等、管理委託業者 約100名
- ◆水質汚濁対策連絡協議会構成機関
 - ・北上川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局(※: 江合川及び鳴瀬川水対協の構成機関でもあることを示す)
石巻市(※)、登米市、栗原市、石巻地方広域水道企業団(※)、石巻地区広域行政事務組合消防本部(※)、登米市消防本部、栗原市消防本部、宮城県(※)、宮城県警察本部(※)、東北経済産業局(※)、関東東北産業保安監督部東北支部(※)、東北地方整備局(※)、東北技術事務所(※)、北上川下流河川事務所(※)
 - ・江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
大崎市、東松島市、美里町、涌谷町、加美町、松島町、色麻町、大郷町、大衡村、大和町、富谷市、大崎地域広域行政事務組合消防本部、塩釜地区消防事務組合消防本部、黒川地域行政事務組合消防本部、鳴瀬川総合開発工事事務所、鳴子ダム管理所

発表記者會：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

- ◆北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 下流支局
- ◆江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会

【事務局】東北地方整備局 北上川下流河川事務所 <http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>
(住所) 石巻市蛇田字新下沼80 (TEL) 0225-95-0194 (代表)

とやま ひさのり
副所長(技術) 外山 久典 (内線205)

おだじま えいじ
管理課長 小田島 栄治 (内線331)

H30 水質事故対応講習会 開催場所位置図

- ◆開催場所： 涌谷地区河川防災ステーション
(新涌谷大橋・左岸)
- ◆開催日時： 平成30年9月28日(金) 13:30~15:30



(参考)平成27年度 水質事故対応講習会 実施状況

■日時:平成27年11月17日(火)13:30~15:30

■場所:涌谷地区河川防災ステーション

■講師:NPO法人自然エネルギー・環境協会_北関東・東北支部 加藤貴史氏、東北技術事務所

①万国旗型オイルフェンス製作・設置

水路や小河川での油回収に有効な「万国旗型吸着フェンスの製作・設置」に関する実習を行いました。



万国旗型オイルフェンス作成状況



万国旗型・吸着型オイルフェンス設置状況

②油を効率良く回収する方法

交通事故発生を想定し、路面→側溝→水路→小河川→大河川へと油が拡散してしまうと、回収までに時間と費用がかかることを解説。



路面における油回収方法



土のう積みによる油回収方法

③中和剤使用の弊害について

河川・湖沼では「中和剤の使用は原則禁止」であることを解説。



中和剤使用の弊害



吸着マット性能の実習

④水質事故時の留意点について

(東北技術事務所)

化学物質・毒物等を対象とした水質事故への対応方法や、PH試験紙、パックテスト、Do(溶存酸素)のキット、トルエン(燃料油系)の計測器について解説。



パックテスト等の説明